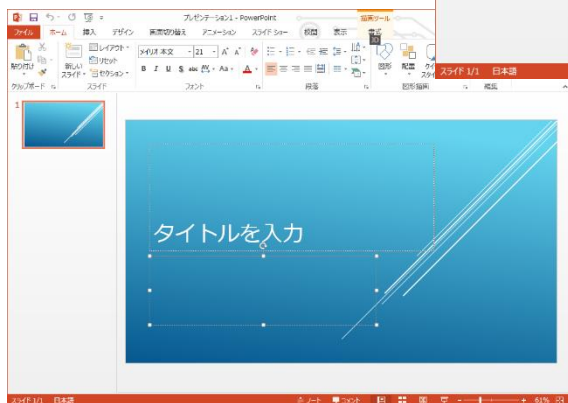
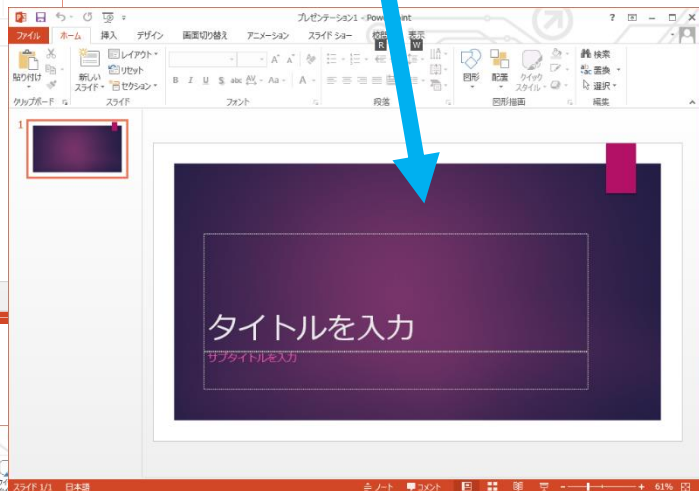
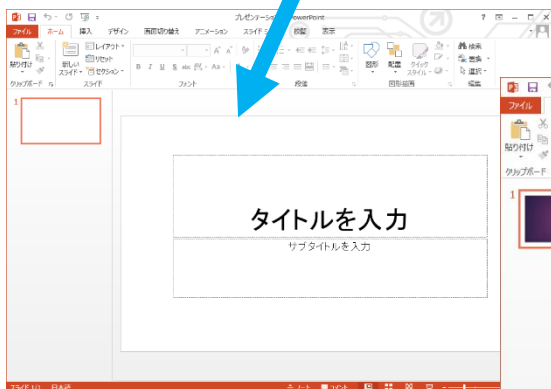
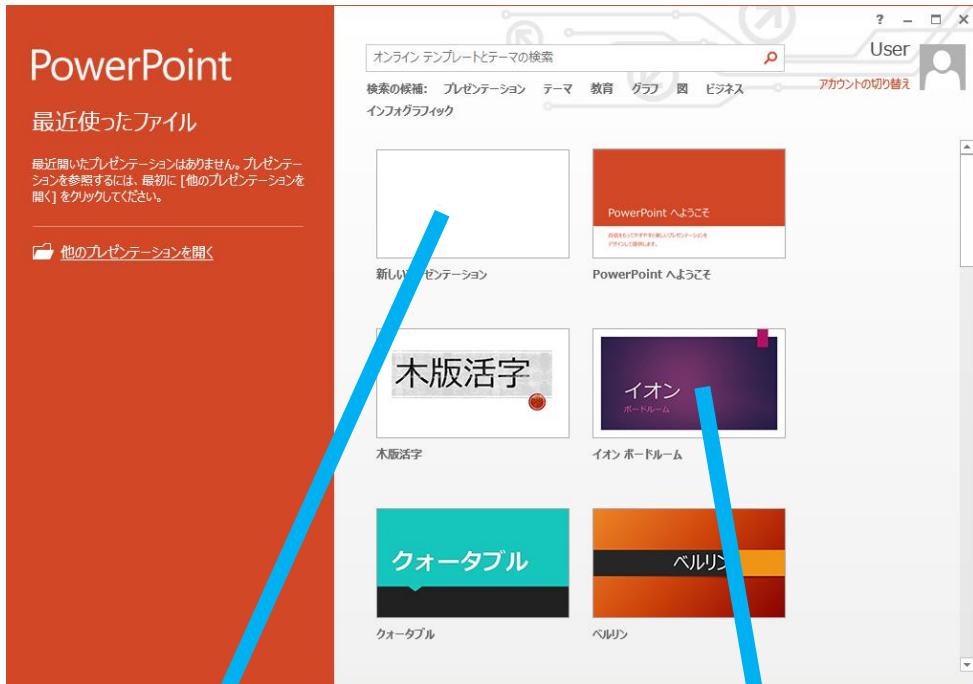
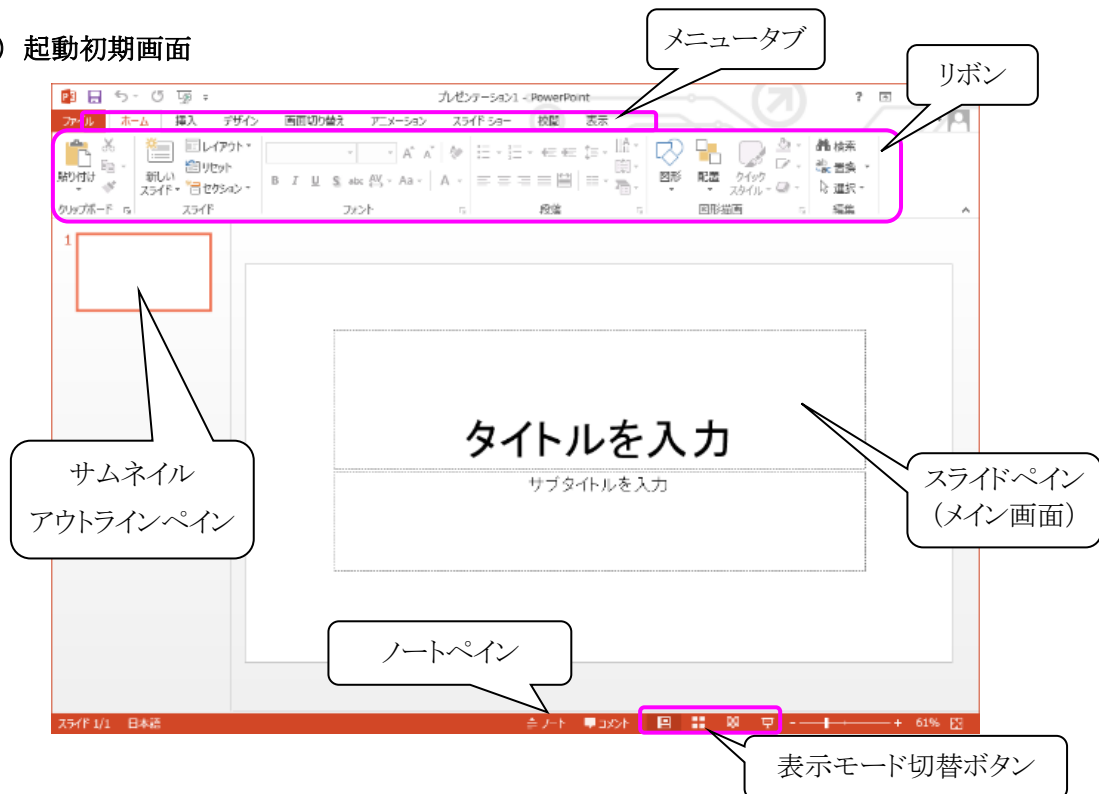


# Power Point 2013 でプレゼン資料を作る

## 0. はじめに



## 1) 起動初期画面



## 2) Power Point の操作として必要なことは・・・

### 1. スライドの操作方法としては

- ・最初のスライド (タイトルを作成?)
- ・次のスライドの追加 (スライドの種類[テーマ]は?)
- ・たくさんスライド作ってからは・・・
  - ・ いらぬスライドを削除するには
  - ・ スライドとスライドの間にスライドを追加挿入するには
  - ・ スライドの順番をかえるには

### 2. スライドの中身の作成方法としては

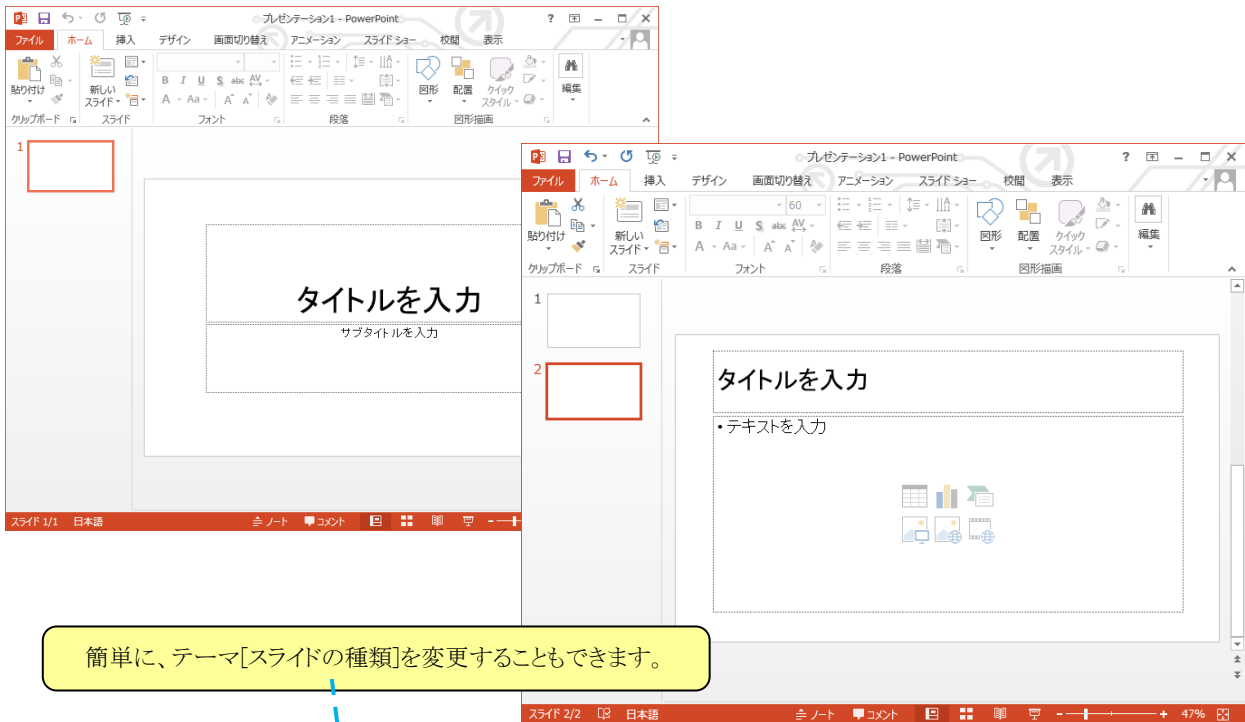
- ・ 文字の入力は・・・
- ・ 箇条書き文字の入力方法は・・・
- ・ 画像ファイルを挿入するには・・・
- ・ 表を挿入するには・・・
- ・ グラフを挿入するには・・・

### 3. プレゼン用テクニックとプレゼン操作としては

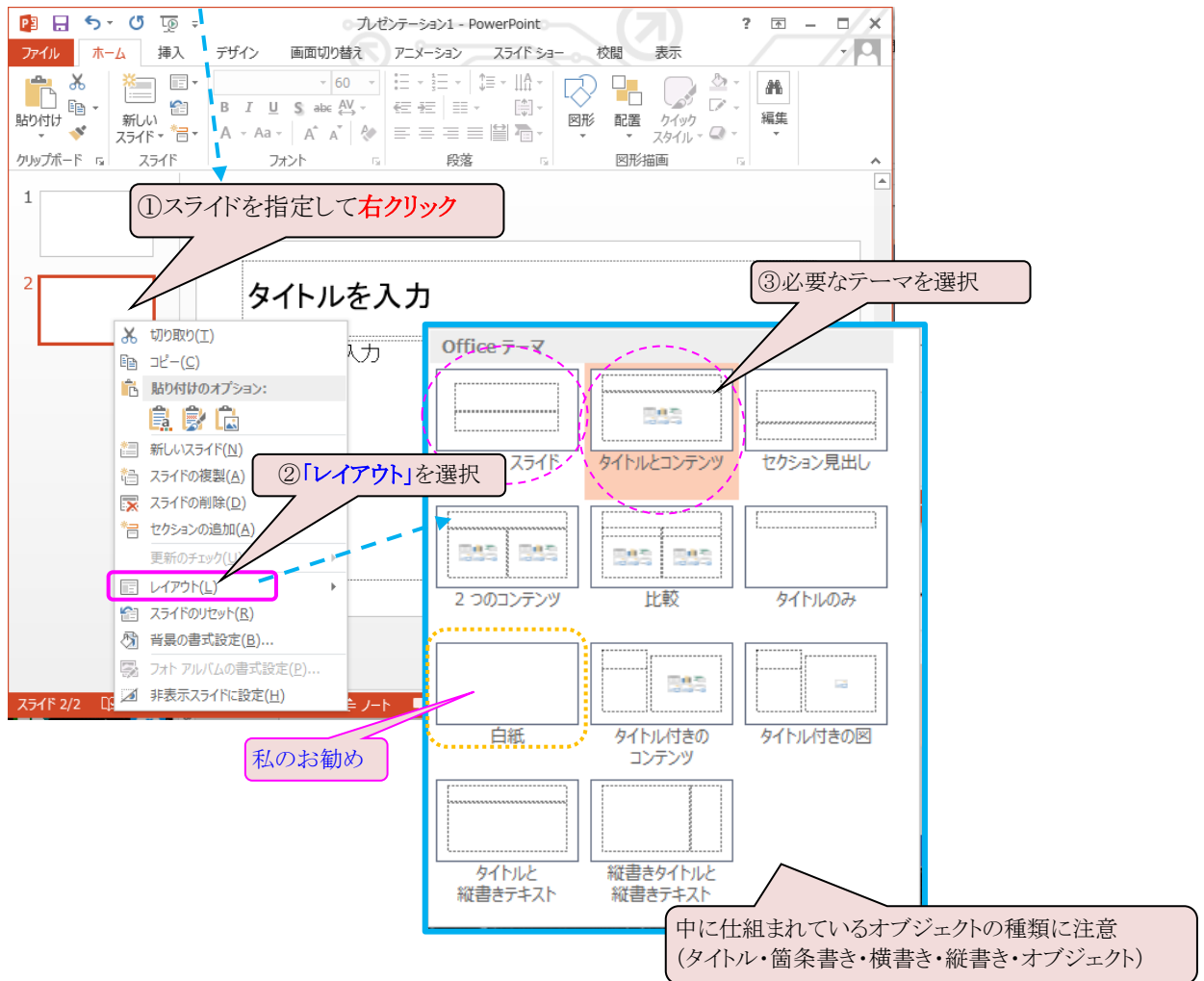
- ・ 背景画像を設定または変更する方法は・・・
- ※スライド切替え時の動作設定方法・・・
- ※アニメーション動作の設定方法・・・
- ・ スライドの操作 (次へ、 前へ戻る、 ジャンプ、 終了するなど)

# 1. スライド操作

1) 最初のスライドが表示されたら・・・ 通常はタイトルを作成します。



## ●スライドの Office テーマ(書式) の変更方法

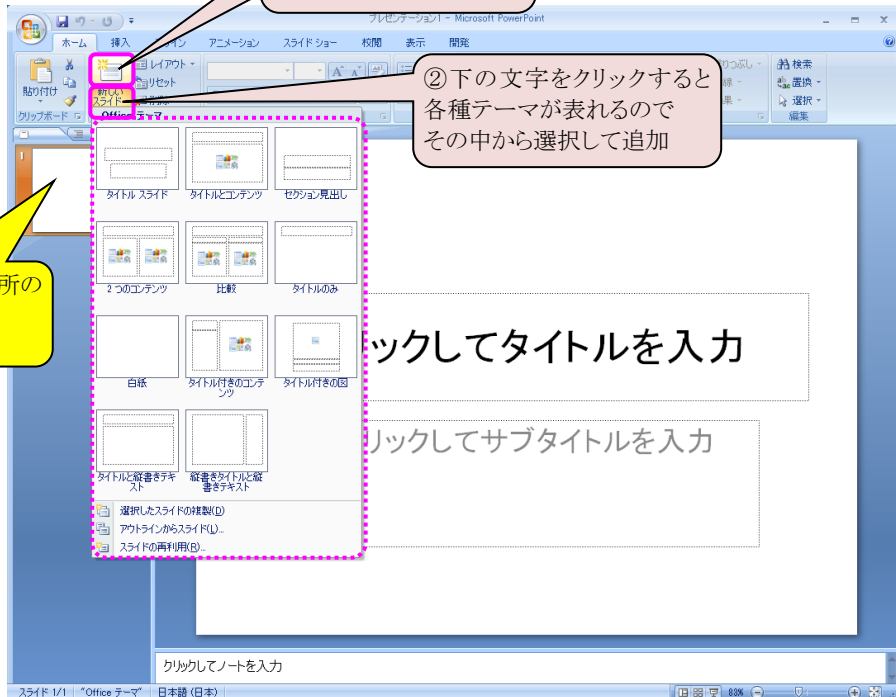


## 2) スライドの追加 (増やす)

①上のアイコンをクリックすると同じスライドが追加される

②下の文字をクリックすると各種テーマが表示されるのでその中から選択して追加

③最初に追加する場所のスライドを指定 (下に追加される)

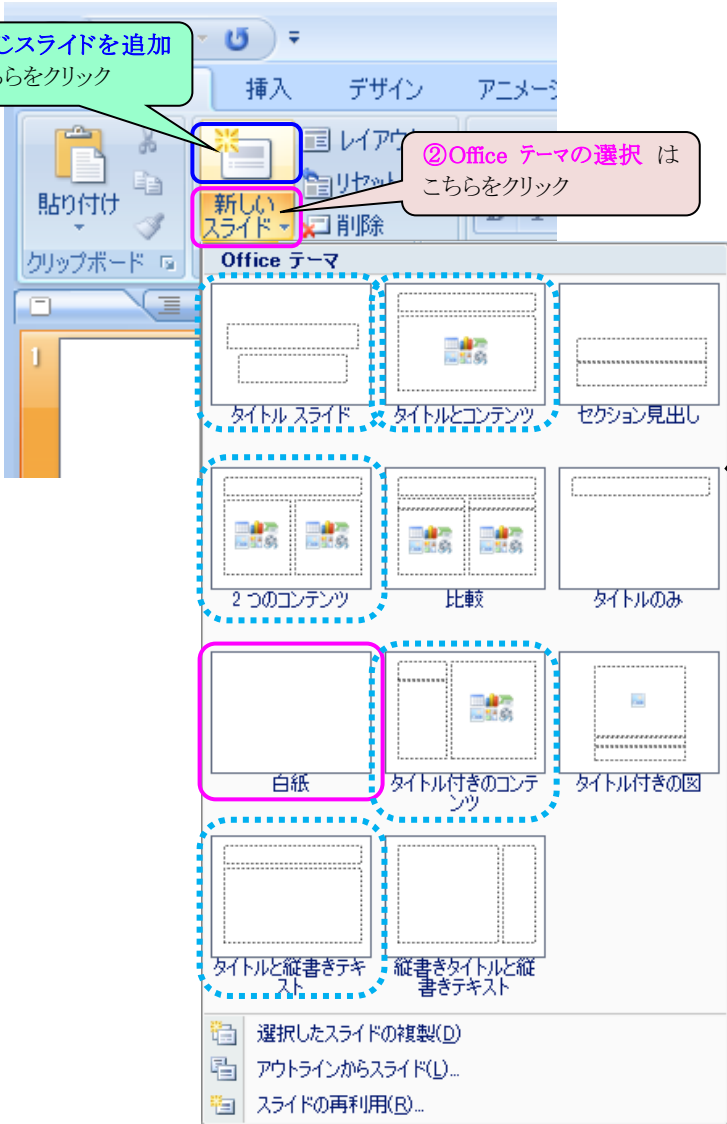


①同じスライドを追加する場合

②Office テーマ(書式) を選んで追加する場合

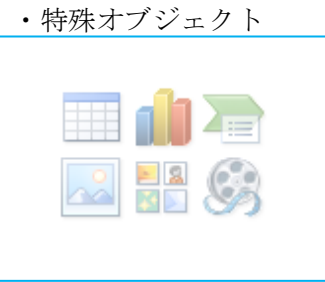
①同じスライドを追加はこちらをクリック

②Office テーマの選択はこちらをクリック

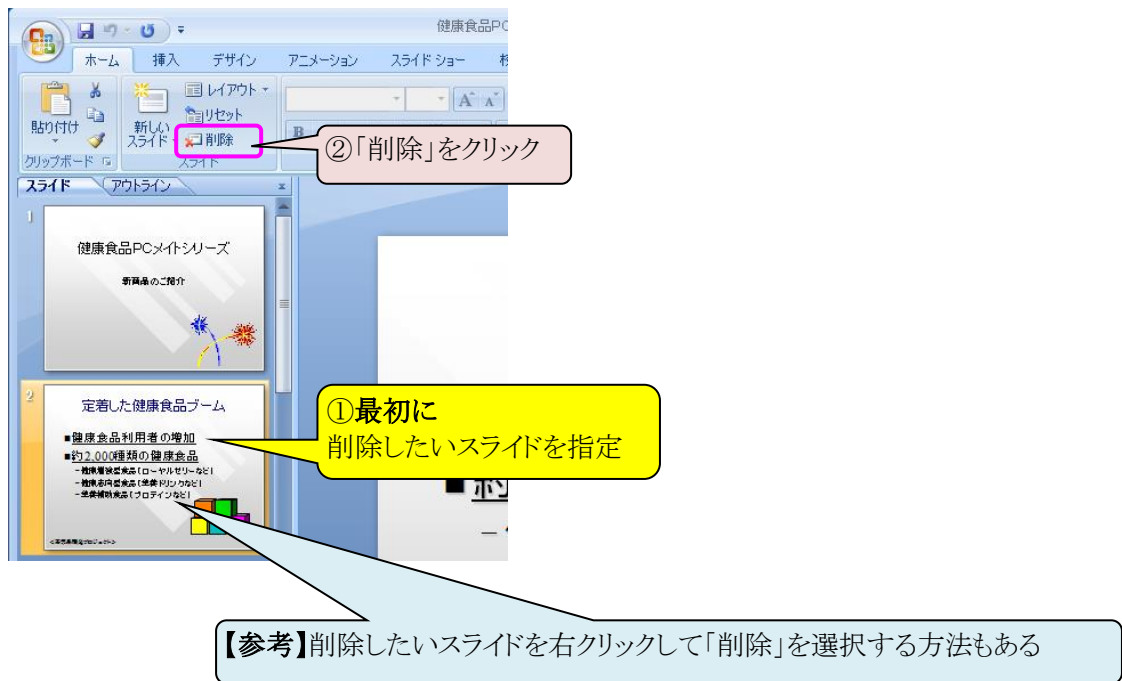


中に仕込まれているオブジェクトの種類に注意

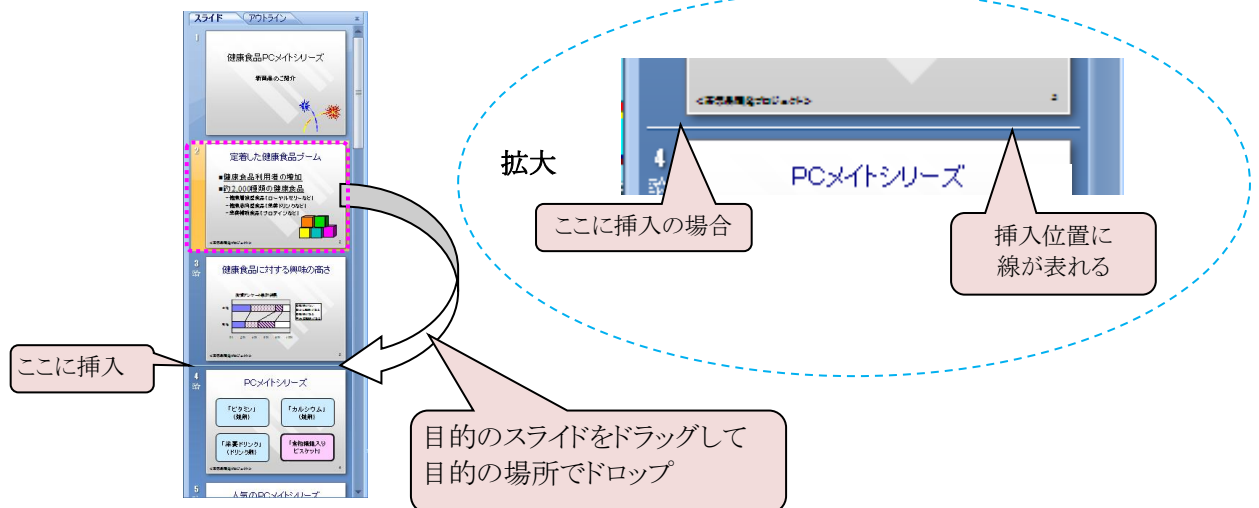
- ・タイトル
- ・箇条書き
- ・横書き
- ・縦書き
- ・特殊オブジェクト



#### 4) スライドの削除



#### 5) スライドの並べ替え（移動）



ポイントは、  
1) 「テーマから作成」 / 2) 「白紙から作成」の切り分け

## 2. スライドの中身の作成

### 1) テーマからの作成

(定型)

メリットは、簡単

しかし、

- ・決まった形のみ
- ・自由度が少ない？

1 クリックして文字を入力

クリックしてタイトルを入力

2 クリックしてテキストを入力

「・」があると、箇条書きができる  
「・」を消すと通常の文字入力になる  
注) 間違っって消してしまった場合は、リボンの中の箇条書きで復活できる

3 オブジェクトをクリックして、「図、表、グラフ」などを挿入できる

目的の画像を指定して「開く」をクリック

#### ①文字の入力の例

クリックしてタイトルを入力  
クリックしてサブタイトルを入力  
タイトル スライド

クリックしてテキストを入力  
タイトルとコンテンツ

目的の画像を指定して「開く」をクリック

#### ②箇条書きの例

クリックしてタイトルを入力  
クリックしてテキストを入力  
箇条書き  
2つのコンテンツ

クリックしてタイトルを入力  
クリックしてテキストを入力  
箇条書き  
比較

クリックしてタイトルを入力  
クリックしてテキストを入力  
箇条書き

#### ③オブジェクトの挿入 (その1)

- 表
- 図
- グラフ
- クリップアート
- SmartArt グラフィック
- 動画 (Media クリップ)

タイトルとコンテンツ

タイトル付きのコンテンツ

2つのコンテンツ

#### ④オブジェクトの挿入 (その2)

##### ●表

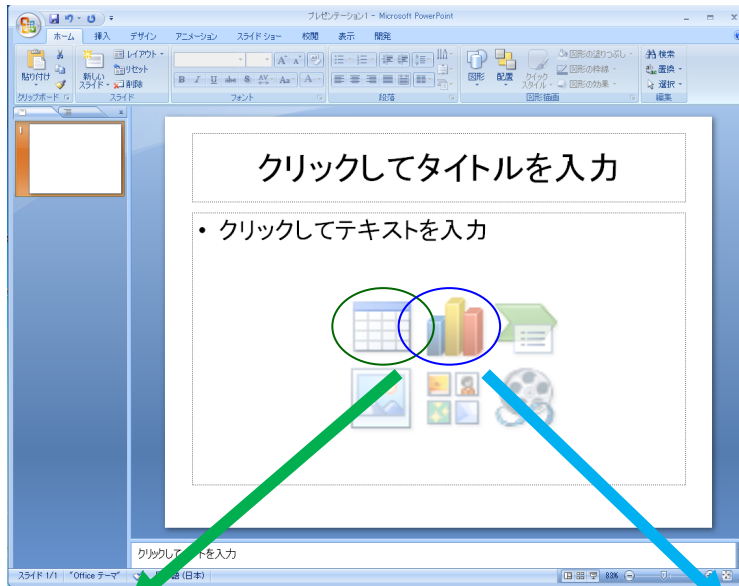


##### ●グラフ

クリップアート

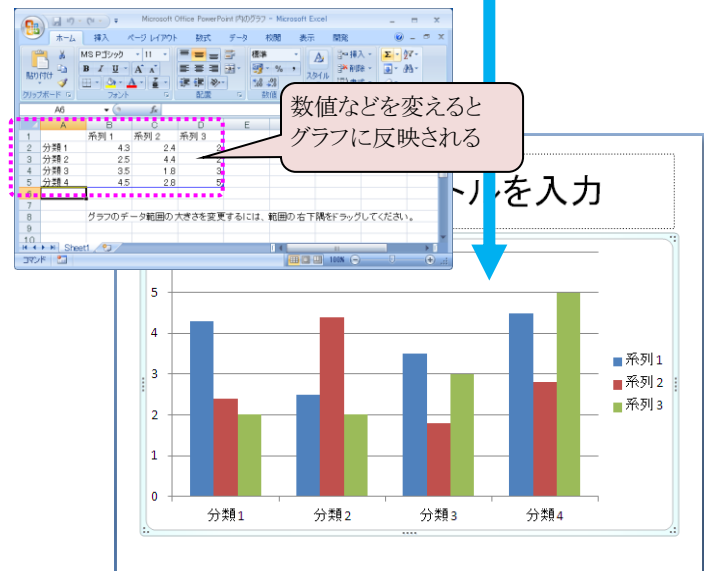
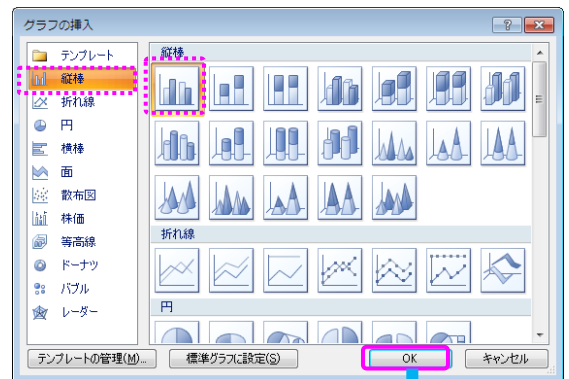
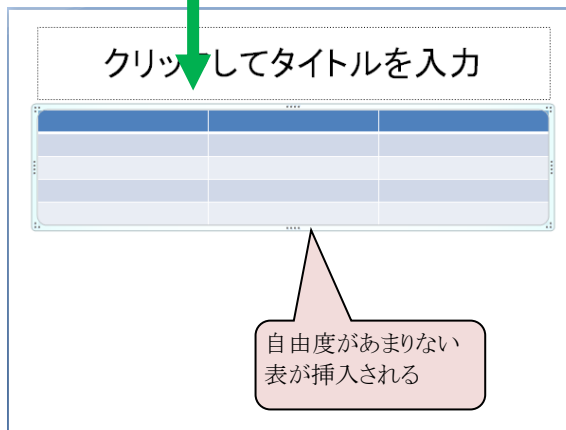
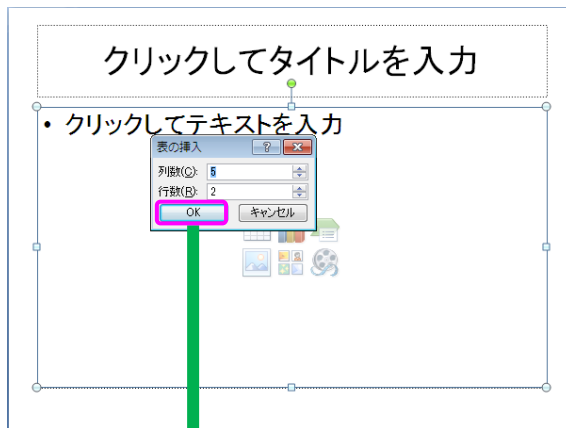
SmartArt グラフィック

動画 (Media クリップ)



・表の挿入

・グラフの挿入



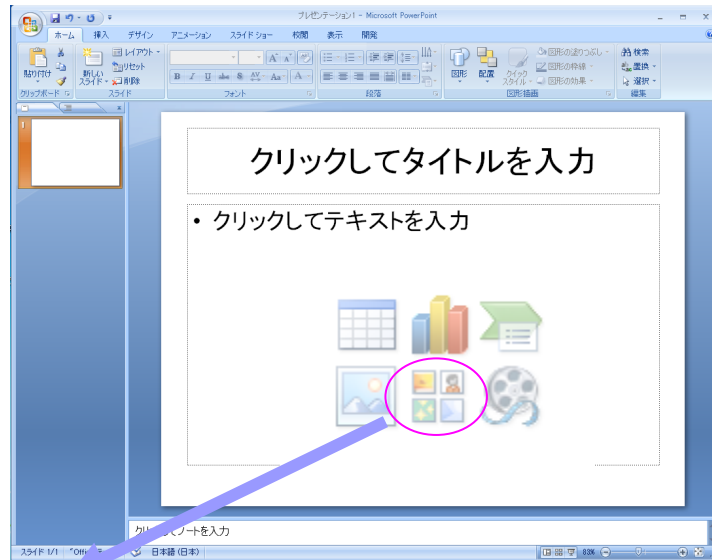


⑤オブジェクトの挿入 (その3)

- 表
- 図
- グラフ

●クリップアート

- SmartArt グラフィック
- 動画 (Media クリップ)



・クリップアートの挿入

ここに画像が何にも表示されない時は、「検索」ボタンをそのまま押して見て下さい

また画像を絞り込みたいときは、**検索文字**を入れて、「検索」ボタンを押して見て下さい

動物・自動車など

最終的に、挿入する画像を1回クリックすると、その画像が挿入されます。2回クリックすると2枚画像が挿入されます。

インターネットから他のクリップアートを取得

図は、移動したり、大きさを自由に変えることができる。コピー（複製）もできる。



## 2) 白紙からの作成

### ①文字入力

①文字のみの場合  
(そのまま文字入力可)  
注) 余分に広がらない

②四角の枠に飾りをつけたい場合  
※文字入力は、右クリックでテキストの編集  
注) 文字の入る所が中央から

④四角の画像などを挿入して文字を入力

メリットは、自由自在

- ・いろいろな形が使える
- ・自由に配置できる
- ・何個でも可能
- ・図形に効果を付けることもできる

このまま直に文字入力できる  
(横書き用・縦書き用がある)  
注) 簡条書きにしたい時は、リボンの中の簡条書きを押す

●書式タブがポイント

右クリックして「テキストの編集」を選択して文字入力  
(中央から始まる)

・「ホーム」タブより文字関係の書式変更

・ここから背景色や文字などの書式を変更できる

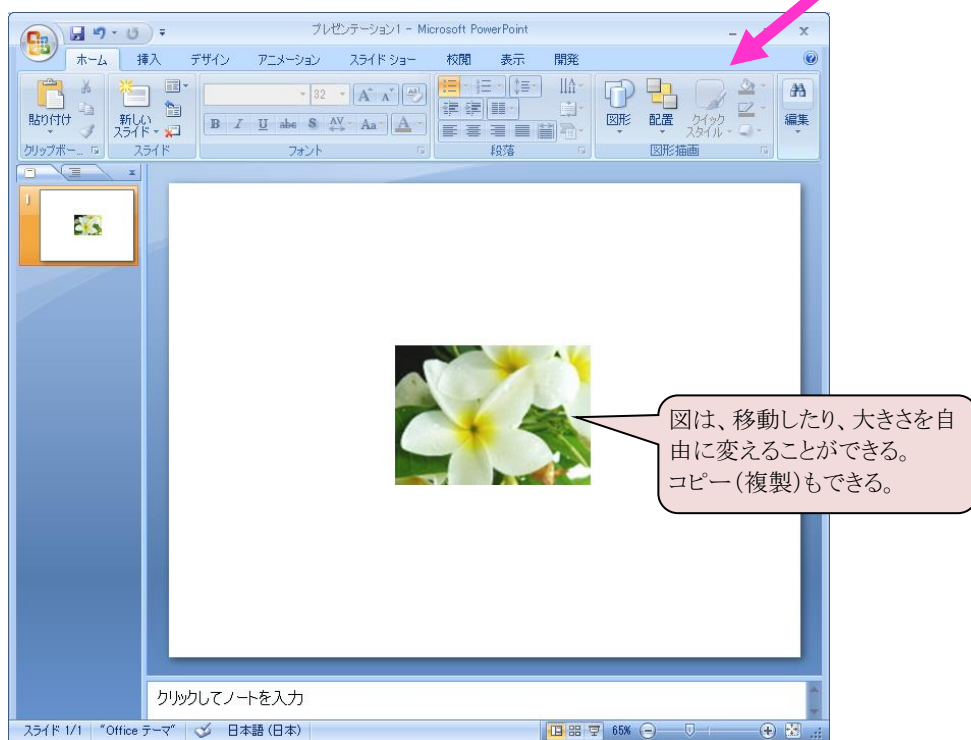
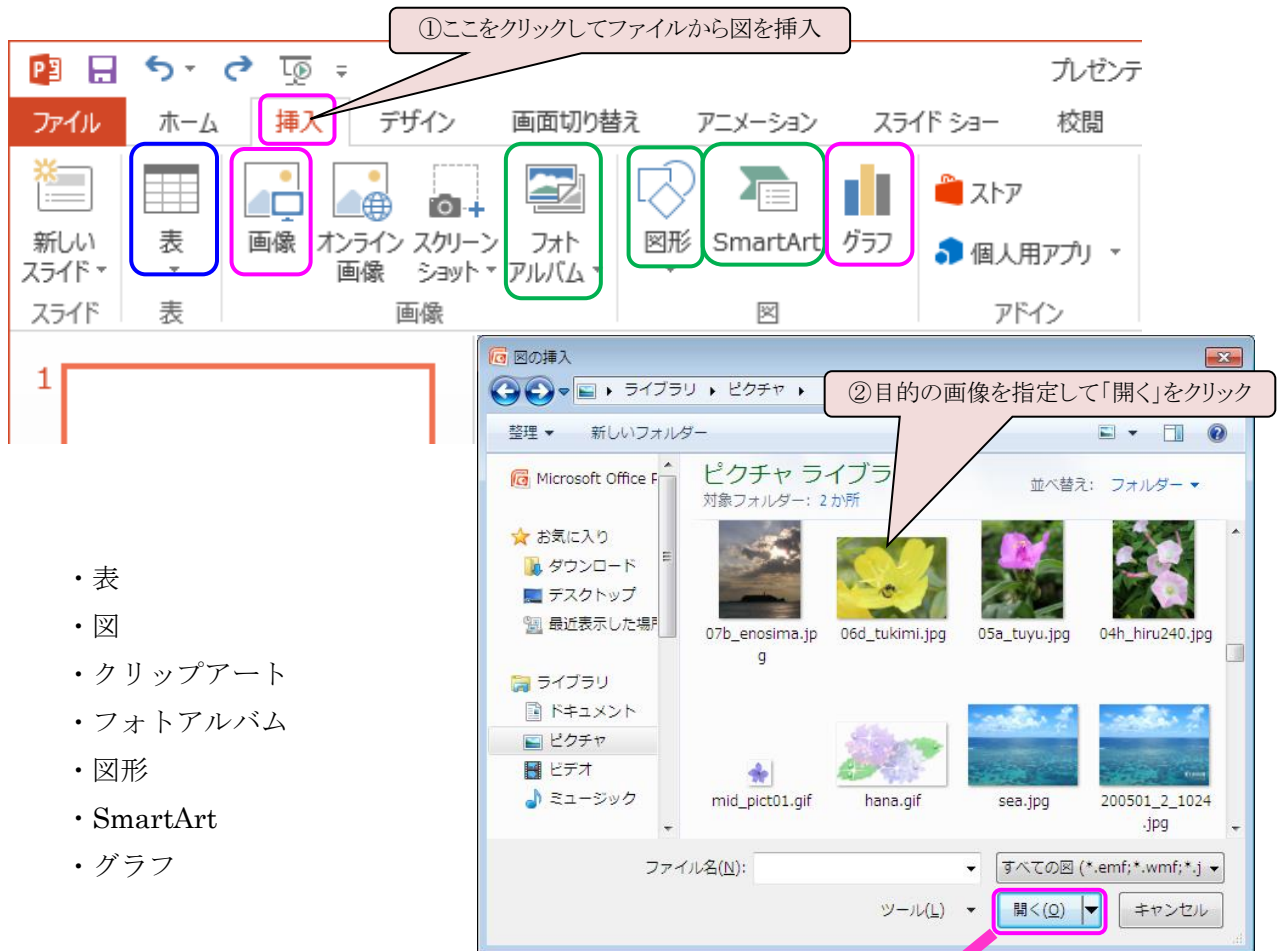
・背景の色等は、「書式」タブの「図形の塗りつぶし」からも変更できる

・決められた書式ですが凝った飾りができます

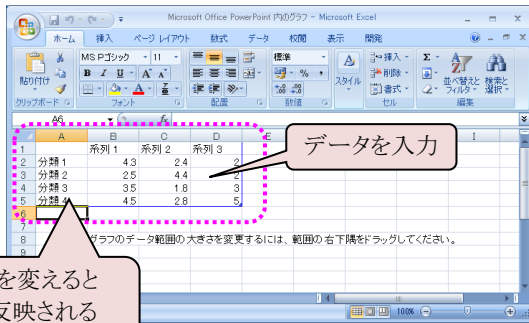
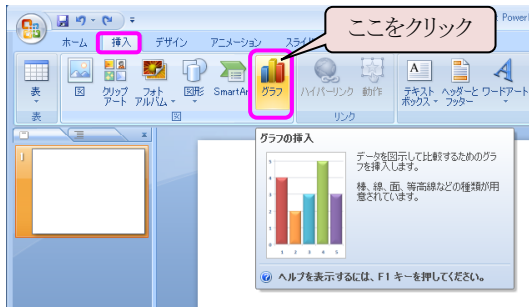
・枠線も変更できる  
・図形に効果をつけることもできる

## ②図・写真の挿入

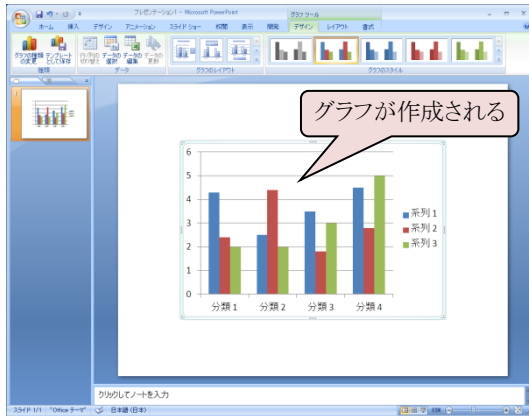
- ・「挿入」タブに注意



### ③表・グラフなどの挿入 (方法1)



数値などを変えると  
グラフに反映される



注意) グラフのみが作成される

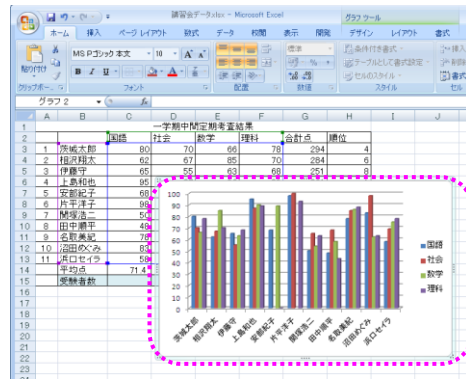
### (方法2)

- 表の挿入は、EXCEL を開いて EXCEL の表の範囲を指定して、コピー&ペーストで挿入する。

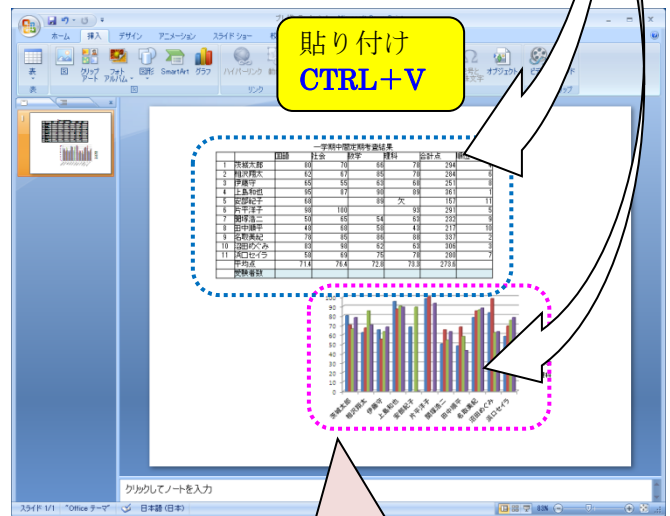
	国語	社会	数学	理科	合計点	順位
1						
2	80	70	66	78	294	4
3	62	67	85	70	284	6
4	65	55	63	68	251	8
5						
6						
7						
8	48	68	58	43	217	10
9	78	85	86	88	337	2
10	83	98	62	63	306	3
11	58	69	75	78	280	7
12		71.4	76.4	72.8	73.3	273.6
13						
14						
15						
16						

コピー  
CTRL+C

- グラフは、表よりグラフを作成し、そのグラフを指定して、コピー&ペーストで挿入する。



コピー  
CTRL+C

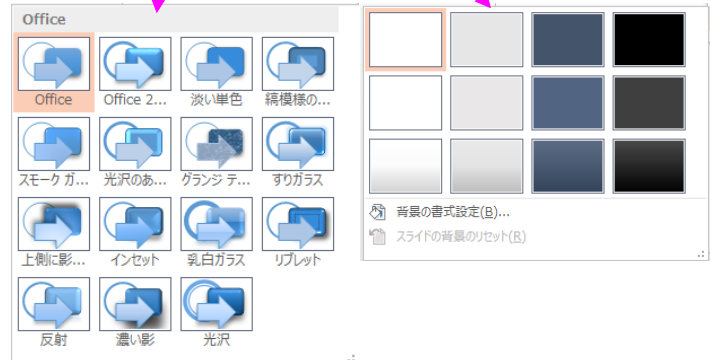


挿入した表やグラフは、自由に移動したり、大きさを自由に変えることができる。コピー(複製)もできる。

## 4. プレゼンテーション技術

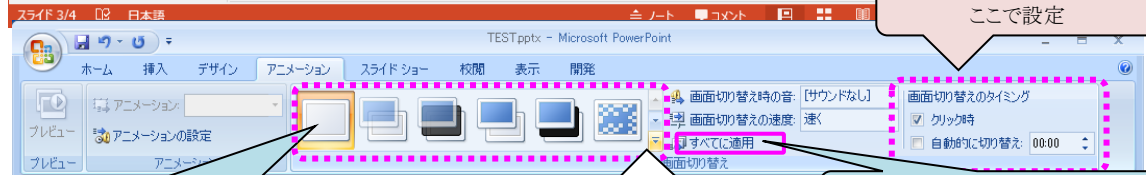
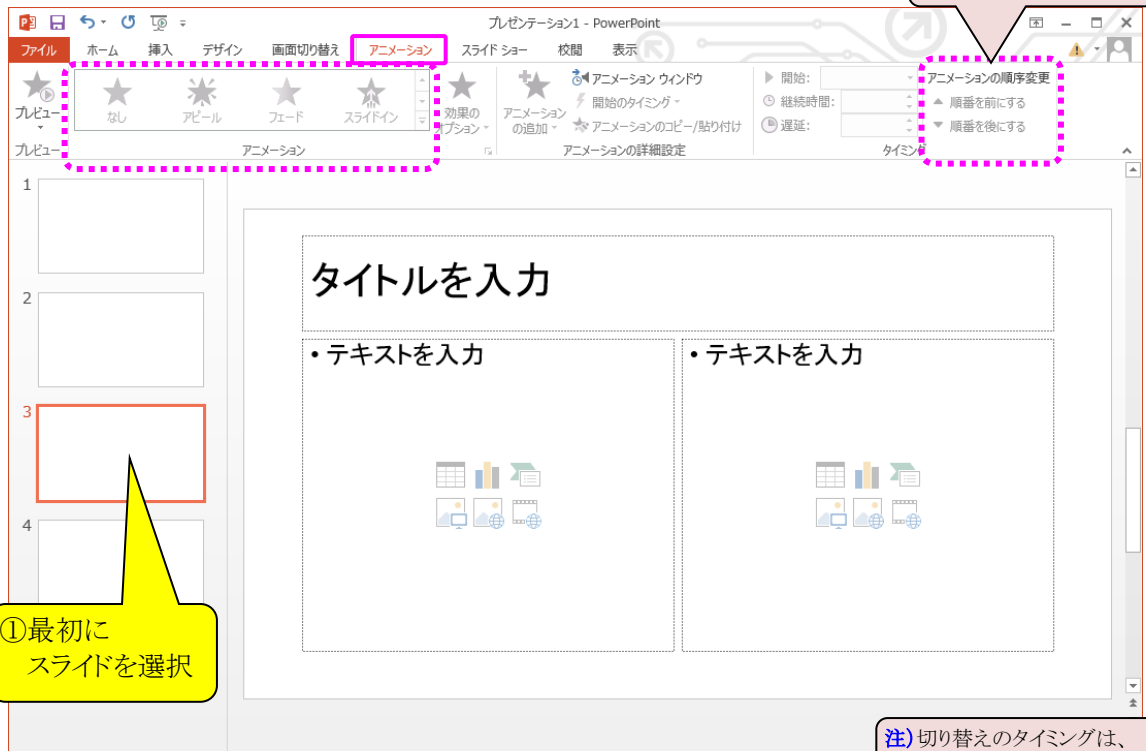
### 1) 背景画面を設定する

「デザイン」タブから選択する



## 2) 画面切り替えの設定方法

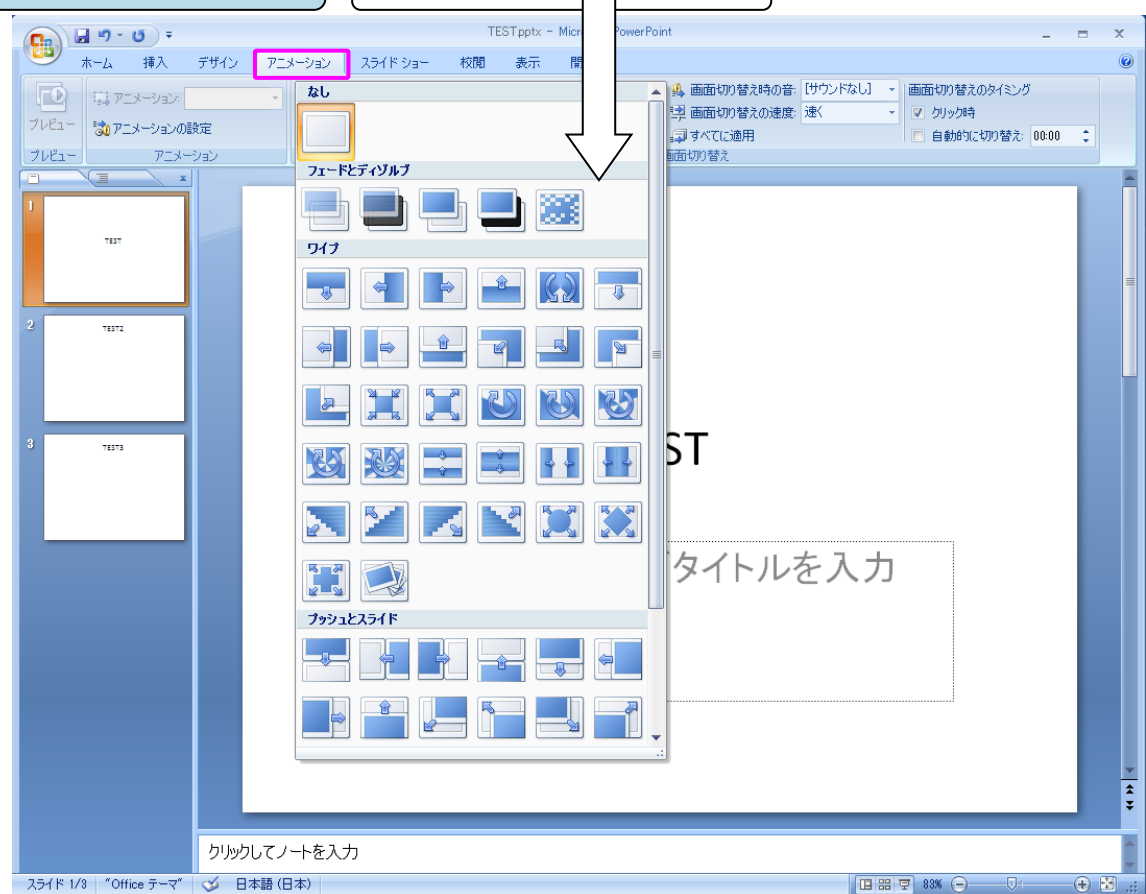
「アニメーション」タブから設定する



注) 全てのスライドに適用を解除するときは、ここを選択

②その他の切り替え動作を表示

注) 全てのスライドに適用するときは、ここをクリック

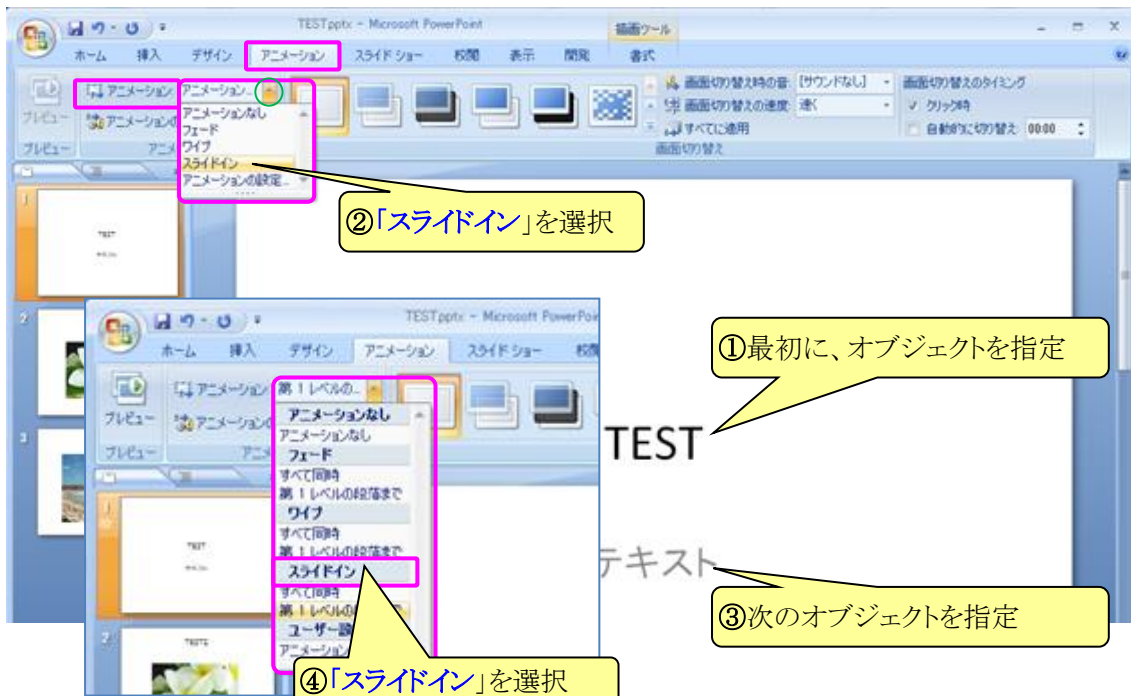




### 3) アニメーションの設定方法

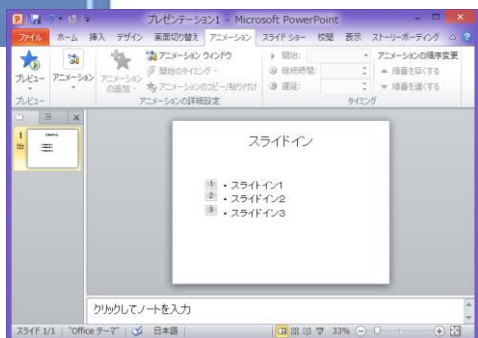
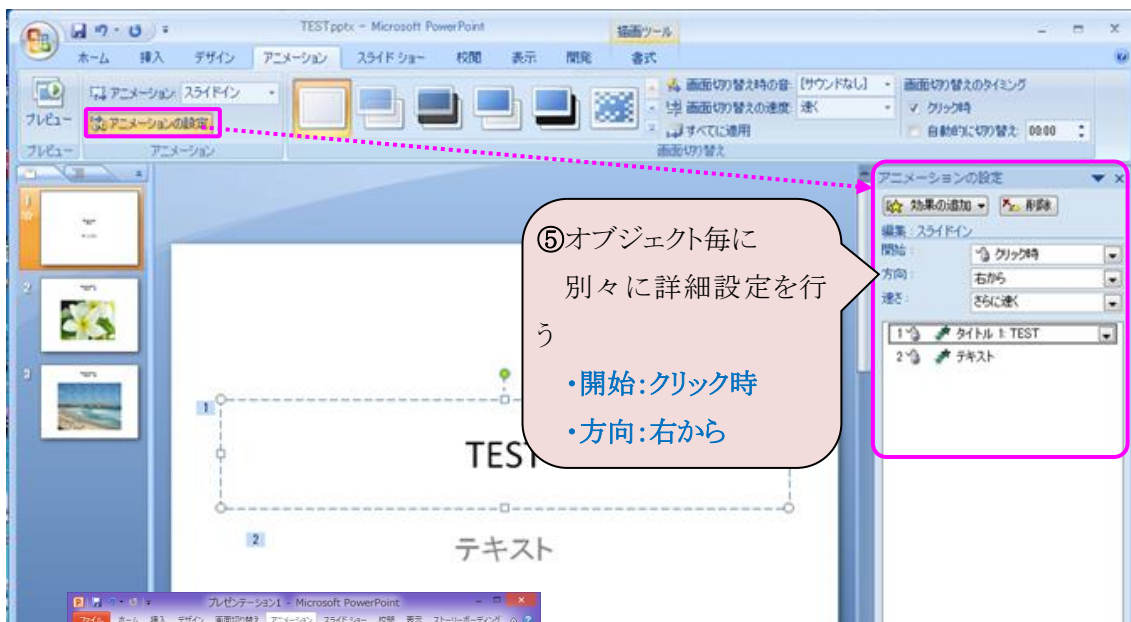
#### ●文字を右からスライドインさせる方法

「アニメーション」タブから設定する



注) オブジェクトがたくさんある時には  
③と④を繰り返す。

#### 詳細設定



●高度なアニメーション設定

●軌跡を設定して、画像を軌跡通りに動かす

(ポイント)  
 ・「アニメーション」タブから設定する  
 ・最初に、設定するオブジェクトを指定しておく  
 ・オブジェクトごとに設定を行う

1 プレゼンテーション1 - Microsoft PowerPoint

2 最初に動かす画像を指定する

3 アニメーションの設定

4 アニメーションの追加

5 アニメーションの軌跡(P)

6 軌跡を描く(D)

7 フリーハンド(S)

8 フリーハンドで軌跡を描く

9 画面切り替えのタイミング

マウスをクリックすると動作を開始する

時間は、動作開始までの時間

スライドが表示されると動作を開始する

フリーハンドで軌跡を設定した例

アニメーションの軌跡効果の追加

♡ ハート	◇ ひし形
○ フットボール	○ 円
◇ 五角形	☾ 三日月
□ 四角形	☆ 星 4
☆ 星 5	☆ 星 6
☆ 星 8	△ 正三角形
△ 台形	△ 直角三角形
○ 八角形	▭ 平行四辺形
△ 涙	○ 六角形

線と曲線

アーチ (右)	アーチ (下)
アーチ (左)	アーチ (上)
カーブ S 型 (1)	カーブ S 型 (2)
ジグザグ	螺旋
ステップダウン	スパイラル (右へ)
スパイラル (左へ)	スプリング
ターン (右下へ)	ターン (右上へ)
ターン (下へ)	ターン (上へ)
バウンド (右へ)	バウンド (左へ)
鼓動	対角線 (右下へ)
対角線 (右上へ)	一直線 (右へ)
一直線 (下へ)	一直線 (左へ)
一直線 (上へ)	波線
波線 (減衰曲線)	波線 (正弦曲線)
湾曲カーブ (右)	湾曲カーブ (左)

特殊

∞ 8 の字 (ダブル)	∞ 8 の字 (横)
∞ 8 の字 (縦)	スワッシュ
ニュートロン	ピーナッツ
プラス	ループ
丸のこ	曲線 (X 型)
△ 三角形 (転回)	□ 四角形 (曲線)
△ 四角形 (転回)	☆ 星 (シャープ)
星 (曲線)	豆

画面切り替えのタイミング

クリック時

自動的に切り替え: 00:00

アニメーションの設定

効果の追加

効果の変更

開始:

プロパティ:

遅延:

再生

スライドショー

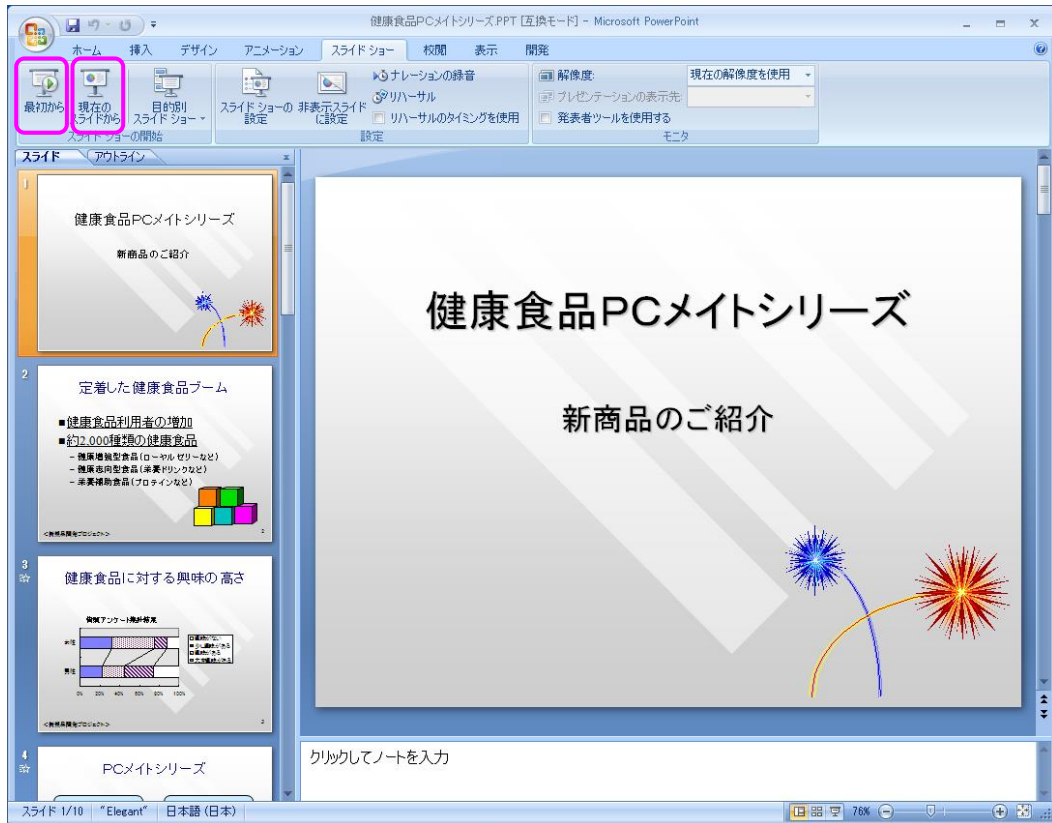
自動再生



## 4. プレゼンテーション操作

### 1) プレゼン開始

- ・「スライドショー」→「最初から」または「現在のスライドから」
- ・ **F5** キー



### 2) ページ送り（画面切り替え）

- ・ 次のページ : **マウスを1回クリック**  
→ または **PageDown** または 右クリックで「次へ」
- ・ 戻る : **CTRL** キーを押したまま、**マウスを1回クリック**  
← または **PageUp** または 右クリックで「前へ」
- ・ ジャンプ : 右クリックで「スライドへジャンプ」から目的のスライドを選択

### 3) 終了

- ・ **Esc** キー
- ・ 右クリックで「スライドショーの終了」
- ・ 最後まで行くと自動終了